

## バスケの試合を機に福岡へ、事業を越えた交友

中城村(津覇小5年)  
新垣 慧 くん

福智町(金田小5年)  
大里 暖道 くん

10月にバスケの試合が福岡であり、すぐに連絡しました。声援がとてうれしかったです。これからもずっと友達でいたいです。

福岡に来ると聞いて喜んで会いに行きました。最初は嫌だった沖縄でも、友達ができて楽しく過ごすことができました。また家族で遊びに来てほしいです。



「平和学習」「異文化体験」…互いに学び、体感する。特別な時間

# 沖縄で学ぶ平和(命) 福智で触れる自然(雪)

## 10年前に福智町訪問、参加者から担当者へ



中城村生涯学習課  
交流事業担当 新垣 臣佳 主事

担当となって初めて事業に込められた思いや苦勞を感じ、村への愛情、仕事に対する誇りをより深く持つことができました。守りつながらきたこの交流を、私たちが次の世代に残していきたいと思います。



沖縄に息づく「いちゃりばちよーでー」の心。この言葉の意味は「一度出会えば皆兄弟」。毎年新たな出会いが生まれる交流事業で、子どもたちは一期一会のかけがえのない体験をし、人生の大きな財産を得ています。

兄弟都市提携を機に、両町村の関係は交流事業以外にも広がりをみせ始めています。今回の訪問の際には中城村の広報担当が視察のため初来町。また1月19日から2日間行われた「とよむ中城産業まつり」で福智町の特産品が販売されるなど、両町村の関係は着実に深まってきました。今後は積極的な人事交流やイベントでの協力など、多方面での連携が期待されています。子ども会活動から始まり町村全体の事業にまで成長した両町村の交流は、今も紡がれてきた思いを乗せて、新しい歴史を刻み続けています。

子どもの交友を越えて  
その先の町村連携へ

夏に沖縄を訪問した子どもたちが冬の受け入れにも参加している現在の交流事業。そこには深くお互いを知り、友情を育んで欲しいとの願いが込められています。「福智で雪が降らなくても、英彦山に行けば見せることができる。その時々に見える全力のおもてなしで子どもたちの最高の思い出を作ってもらいたい」と語った永末会長。両町村ともに受け入れの際には自分の町・村にこだわらず、県内を広く案内することで、より子どもの感性を伸ばし、異文化を体験する機会を設けることを目指しています。

子どもの体験と成長願う  
特色生かしたおもてなし

H31.1.18 — 1.20  
中城村・福智町

## 「交流会」

「異文化体験」を目的に中城村から18人が来町。暖冬で事業開始以来初めて雪を見ることができませんでしたが、沖縄には無い電車やもちつきなどを体験。7月からホームステイや研修で絆を育み続けた両町村は、別れを惜しみ、再会を誓い合いました。



福智町

H30.7.28 — 7.30  
沖縄平和学習

## 「少年の翼」

「平和学習」を目的に福智町から31人が参加。訪問前には4度の事前研修を行い、沖縄県の文化や沖縄戦の歴史を学習し、交流に臨みます。悲惨な戦争を経験した沖縄でこそ得られる「命どう宝」の精神は子どもたちの心にしっかりと刻まれました。



中城村



最新機器も体験！ふくちのち見学



動物たちと触れ合えた到津の森公園



炭都・筑豊の歴史学んだ石炭歴史博物館



笑顔あふれた半年ぶりの再開対面式



異文化感じて交流深めたもちつき体験



伝統工芸を体感した上野焼絵付け体験



感謝を伝え、再開願ったお別れ会



思い出のお土産にシーサー絵付け体験



琉球王国の歴史感じた首里城



解説とともに世界遺産をめぐった中城城跡



緊張の初顔合わせ対面式



沖縄の海の神秘に感動した美ら海水族館



平和への祈り届けた沖縄平和記念公園



学び楽しんだ護佐丸歴史資料図書館